

大津市水道時代劇

第三回 水道事業の拡張

（戦前から戦後まで）

第一次拡張事業

（市域の拡大に伴う配水管の整備）

昭和8年4月、大津市は膳所・石山両町との合併により、市域の拡大とともに人口も増加した。この状態に応じて、文化的都市としての充実が必要となり、とりわけ、上水道の整備は合併条件の1つであった。

膳所・石山地区は、工場が多く、また年間数十万人から百万人を超える観光客の訪れる観光地であるにもかかわらず、上水道の整備は遅れていた。

昭和10年2月上水道拡張認可を得ると直ちに工事に着手、翌11年5月給水を開始した。

また、藤尾地区は地形上上水道の給水は行われていなかったが、昭和7年に隣接する京都市の上水道拡張計画が起これり、山科浄水場が建設されるのを機に、京都市と分水契約を締結し、昭和11年2月に給水を開始した。

第二次拡張事業

（米国駐留軍施設への給水）

昭和20年8月終戦により、本市にも米軍が駐留することとなり、駐留軍への完全給水が義務付けられたが、従来の給水能力では応じられないため、昭和21年8月東洋レーヨン株式会社と1日3,000m³を限度とする供給契約を締結し、給水源の確保に努めた。しかし、なお断水措置を免れることができなかった。

さらに、当時の情勢では兵員数、住居施設、その他の駐留軍施設の増加が予想され、水の需要は増加する一方で駐留軍用給水の確保も難しい状態になった。

このような状況のもと、昭和21年6月

15日所在軍政部司令官からP・D（調達要求）が発給され、駐留軍のみを目的とした専用水道施設が全額国費でもって建設されることとなり、本市は県から委託を受け、同年10月竣工、昭和23年3月竣工し、同年7月1日から給水を開始した。

第三次拡張事業

（戦後の経済復興と需要家要望への対応）

戦後の経済復興とともに、人々の生活が安定してくると、水道布設の要望が各地区から起こってきた。

特に、膳所・石山地区の水需要の増加には著しいものがあり、また、滋賀・坂本地区へも給水するため、昭和24年11月に第三次拡張事業に着手した。

膳所方面においては、給水能力5,000m³/日の緩速ろ過池を有する膳所浄水場を、旧膳所城二の丸跡に建設した。また、同地区山手に給水するため、茶臼山配水池を設置した。

さらに、雄琴地区においては、十数軒の旅館・官公庁の寮・保養所等があり、また大規模旅館等の進出が予定されていたため、地元の水道布設への要望は特に強かった。このため、給水能力180m³/日の雄琴浄水場（簡易水道）を建設し、同地区の水需要に応えた。

20周年記念式典

昭和5年6月に給水を開始して以来、隣接町村との行政合併による市域の拡大と市勢の発展とともに、水道事業は着実に発展を遂げてきた。

昭和25年には給水戸数9,250戸、配水量は480万m³となり、創設当時に比べ戸数で約3倍、配水量は約9倍の伸びを示した。

そうした中、昭和25年に20周年を迎えた水道事業は、翌26年6月に記念式典事業を開催した。記念式典は、需要家優待抽選会、記念式典、祝賀会の3部構成で行われた。

（続く）

今回の年代の年表



山上高区配水池築造工事



20周年記念式典

年代	西暦	大津の水道の歴史	大津、その他の歴史
昭和8年	1933年		4月 大津市、膳所・石山町と合併
10年	1935年	2月 第一次拡張事業認可	
11年	1936年	2月 藤尾、追分地区給水開始（京都市と分水契約締結）	
		5月 膳所・石山地区給水開始	
		8月 第一次拡張事業竣工	
12年	1937年		3月 大津市営ガス事業開始
14年	1939年	10月 料金改定	9月 第二次世界大戦勃発
16年	1941年		12月 太平洋戦争勃発
17年	1942年	10月 料金改定	
20年	1945年	4月 料金改定	8月 ボツダム宣言受諾 10月 米軍、大津に駐留開始
21年	1946年	4月 料金改定（物価統制令による）	
		6月 第二次拡張事業認可	
		8月 東洋レーヨン（株）と供給契約を締結	
22年	1947年	11月 料金改定	11月 新憲法公布
		4月 第三次拡張事業認可 9月 料金改定	

年代	西暦	大津の水道の歴史	大津、その他の歴史
昭和23年	1948年	3月 柳ヶ崎浄水場完成 第二次拡張事業竣工	
		7月 米軍駐留部隊に給水開始 料金改定	
		10月 料金改定	
24年	1949年	9月 料金改定	4月 1ドル360円の為替レート設定
25年	1950年	1月 滋賀地区給水開始	6月 朝鮮戦争勃発
26年	1951年	6月 20周年記念式典	4月 大津市と坂本・下阪本・雄琴大石・下田上村が合併
27年	1952年	1月 料金改定	
28年	1953年	1月 地方公営企業法適用	
		4月 料金改定	
		9月 公営企業部設置	
29年	1954年		1月 1銭単位の通過廃止
30年	1955年	6月 霊仙山配水池完成	
		10月 膳所浄水場完成 坂本地区給水開始	10月 日ノ国交回復
31年	1956年	4月 雄琴簡易水道竣工・給水開始	
32年	1957年	7月 茶臼山配水池完成 第三次拡張事業竣工	

お問い合わせ、ご相談は

■ お客様センター 料金のお支払等、お引越しなどによる開栓・閉栓 (077-528-2603)

窓口受付 平日のみ 午前8時40分から午後5時25分まで
電話受付 平 日 午前8時40分から午後6時30分まで
土 日 祝 午前8時40分から午後5時25分まで
(1月1日から1月3日を除く)

■ 安全サービス課 緊急通報（ガス漏れ） (077-523-1231) 水道・ガスの相談 (077-528-2607)

今号より、ある1つのテーマに沿った表紙写真を募集します。今回のテーマは「水道水の良さが伝わる1枚」。人物が被写体となる場合は、撮影及び掲載について必ずその方の承諾を得てください。写真の裏に氏名及びタイトルを明記して、左記の住所までお送りください。締め切りは平成28年12月16日（金）。写真採用者の方には図書カードを進呈します。なお、お寄せいただいた写真の返却はいたしませんのでご了承下さい。

発行／大津市企業局 大津市御陵町3番1号

<http://www.city.otsu.lg.jp/kigyoo/index.html>

※大津市企業局のホームページは、右記QRコードをスマートフォン付属のカメラで読み込んでアクセスすることができます。



あなたの「くらし 支えるパートナー」企業局です。

ブランドメッセージに込めた思い

蛇口をひねれば水がでる。ガスコンロに火が点る。トイレを済ましたら流れていく。そんな日常の「当たり前」を守るために、企業局は「縁の下の力持ち」として、日々お客さまの生活を支えています。

これからもお客さまの快適で安心・安全な生活を守りたい。生活を支える「パートナー」として、身近な存在であり続けたい。そんな思いを込めて、ブランドメッセージ「くらし 支えるパートナー」を新たに掲げました。このブランドメッセージに込めた思いを職員一人ひとりが胸に刻みながら、お客さまから信頼され、選ばれる存在であり続けることを目指します。

デザインは若者の発想で

ブランドメッセージを広くお客さまに知っていただくために、企業局のロゴデザインも一新しました。デザインを手がけたのは、成安造形大学の高橋菜由さんと古屋舞子さん。このデザインに込めた思いを、お二人にお伺いしました。

企業局 企業局のことを、ご存知でしたか？
高橋さん 一年前から大津市に住んでいますが、企業局の存在は知りませんでした。水道・下水道・ガスはそれぞれ違うところが運営していると思っていたので、企業局がすべて運営していることは初めて知りました。
古屋さん 市外から通学しているので、企業局のことは知りませんでした。上下水道とガスは関わりがないと思っていたので、企業局が一緒に取り扱っていることに驚きました。

企業局 お二人のお宅にも水道・ガスの検針票が入ると思うのですが、見られませんか？

高橋さん それは、毎月チェックしています。今月は水道を使いすぎたなとか(笑)

企業局 では、あまり身近でなかった企業局のロゴをデザインしていただくことになったのですが、どんな思いを込めてデザインされましたか？

高橋さん 組織名のデザインは、企業局が「安全」、「強靱」そして「持続」するインフラを目指していること、またずっしり



くらし 支えるパートナー 大津市企業局

と地域に根付いて存在しているイメージから、堅いゴシック体を基調としています。角をなくすことで親しみ易さも込めました。また、ブランドメッセージについては、人と人のつながりをイメージして、組織名よりも若干丸みを増やして、溶け込むイメージを込めました。色については、元々コミュニケーションマークで使われていた青と緑に加えて、人と人をつなぐ色を連想したときに親しみ易さ・温かみがあるオレ

ンジがふさわしいと思いました。

古屋さん 行政というとかしこまったデザインが多いという印象を持っていたので、ピクトグラム(絵文字)を入れることで少し遊んでみました。生活に身近な上下水道とガスを扱っていることを知ってもらいたいと思い、ロゴを見ただけでわかるように、そして全体的に親しみやすさが出るように心がけました。「かわいい」と思ってもらえることで、目に留まりやすく、覚えてもらえたらという思いを込めてデザインしました。

企業局 制作活動に追われる毎日かと思いますが、将来、どのような道に進みたいですか？

高橋さん 今暮らしの中にデザインされていないものはほとんどないので、例えば地域のコミュニティなど、物ではないものをプロデュースしたり、将来へ続くものを設計して、少しでも暮らしがよくなったり、楽しんでもらえるようなデザインをしていきたいです。

古屋さん 来年は就職活動が始まります。夏休みにデザイン事務所インターンシップに行つて実際に広告をつくる仕事をしたのですが、自分がつくったものが出来る上がる達成感を味わえましたし、人とのつながりを感じられる仕事だと思つたので、今は広告をつくる仕事をしていきたいと思っています。

企業局 お二人の将来を楽しみにしています。すばらしいデザインを手がけていただき、本当にありがとうございます。

私たちが
デザイン
しました!